

職員の出し物で盛り上がる

積善病院で敬老会／入院患者ら楽しい時間を過ごす



銭太鼓の演奏 (積善病院で)

豊橋市二川町の積善病院(橋本真徳院長)は18日、同院リハビリ室で敬老会を開いた。入院患者ら100人以上が集まり、職員による時代劇やダンス、合奏などの出し物を楽しんだ。

沖繩の伝統舞踊「エイサー」や銭の鳴る音を利用するリズム楽器「銭太鼓」、鍵盤ハーモニカの合奏のほか、創作時代劇「水戸黄門」や戦隊ヒーロー「介護レジンジャー」のステージもあった。合奏では、「およげ!たいやきくん」や「南の

島のハメハメハ大王」など3曲が披露された。聴衆も手拍子や合唱で参加し、盛り上がった。看護主任による「ソーラン節とひげダンス」も会場を沸かせた。

「長寿様」として、最高齢106歳の女性患者からのあいさつもあり、会は和やかに終了した。

(原田ひとみ)